

中央市立田富第一・田富北保育園
統合実施計画



令和7年2月

中央市こども健康部子育て支援課

目次

I	統合実施計画策定にあたって	- 1 -
1	本市が抱える課題と再編について	- 1 -
2	これまでの計画等及び統合方式について	- 1 -
(1)	これまでの計画等	- 1 -
(2)	統合方式について	- 2 -
3	市内児童数（0歳～5歳児）推移	- 3 -
4	田富第一保育園及び田富北保育園の現状について	- 4 -
(1)	建物（園舎）の現状について	- 4 -
(2)	定員に対する園児数及び園児数推移	- 5 -
II	統合について	- 6 -
1	集約先施設の検討について	- 6 -
2	田富第一保育園への統合に向けた施設規模検討	- 6 -
3	田富第一保育園改修工事について	- 8 -
(1)	田富第一保育園改修工事基本方針	- 8 -
4	統合後の田富北保育園施設について	- 8 -
III	統合スケジュール	- 9 -
1	統合までの流れ	- 9 -
2	統合スケジュール表	- 10 -

I 統合実施計画策定にあたって

1 本市が抱える課題と再編について

中央市（以下「本市」という。）では、昭和 40 年代から 50 年代にかけて公立保育園の整備を進めてきました。

令和 6 年 4 月時点で、公立保育園すべてが築後 40 年以上経過しており、施設・設備の老朽化が表面化し、改修が大きな課題となっています。

しかし、人口減少や少子高齢化に伴い社会保障費は増加傾向をたどり、市の財政状況は厳しさを増すと見込まれる中、今後、すべての施設の改修や建て替えを行うことは、非常に困難な状況になる見込みとなっています。

このことを踏まえ、本市では令和 2 年度に「中央市公立保育所再編基本計画」を策定し、公立保育園の再編による適正配置を進め、財政的な面からも効率的な保育所運営を行い、施設の適切な維持管理及び再編によって得られる人員・予算を活用して保育サービスの質向上及び拡充を図ることとしました。

上記計画に基づき、令和 4 年度に再編計画第一弾として、「中央市立田富第二・田富第三統合保育園建設実施計画」を策定し、田富第二保育園と田富第三保育園の統合を進めているところです。

今計画については、再編計画の第二弾として田富第一保育園と田富北保育園の統合を進めるため策定するものになります。

2 これまでの計画等及び統合方式について

(1) これまでの計画等

平成 28 年 10 月 「中央市公共施設等総合管理計画」 策定

保育施設については、少子化に伴う充足率の低下や施設老朽化が課題として挙がり、統廃合や運営形態を含めて検討し、保育園の適正規模・適正配置を図ることとする方針を示す。

平成 30 年 「中央市公立保育所在り方検討委員会」 設置

学識経験者・保護者の代表者などを委員とし、公立保育所の在り方について検討を行う。

平成 31 年 3 月「中央市公立保育所在り方検討委員会報告書（提言）」としてまとめ市へ提出を行う。

以下、提言内容抜粋

「田富第一保育園」と「田富北保育園」を統合し、施設（園舎）については、2013年（平成25年）から2014年（平成26年）にかけて大規模改修工事を終えた「田富第1保育園」の施設（園舎）を使用し、「田富北保育園」は廃園とするのが望ましい

令和3年3月 「中央市公立保育所再編基本計画」 策定

公立保育園の現在の施設状況・入園状況や今後の人口推計等を踏まえ、「田富第二保育園と田富第三保育園」及び「田富第一保育園と田富北保育園」を統合し、田富地区保育園を4か所から2か所へ再編を行う方針を示す。

令和4年3月 「中央市公共施設等第1期個別施設計画」 改定

公立保育園の各施設について、より詳細な建物調査等を行い、田富第一保育園と田富北保育園の統合については、田富第一保育園への集約化にて統合すること及び令和9年度までに集約するスケジュール（案）を示す。

（2） 統合方式について

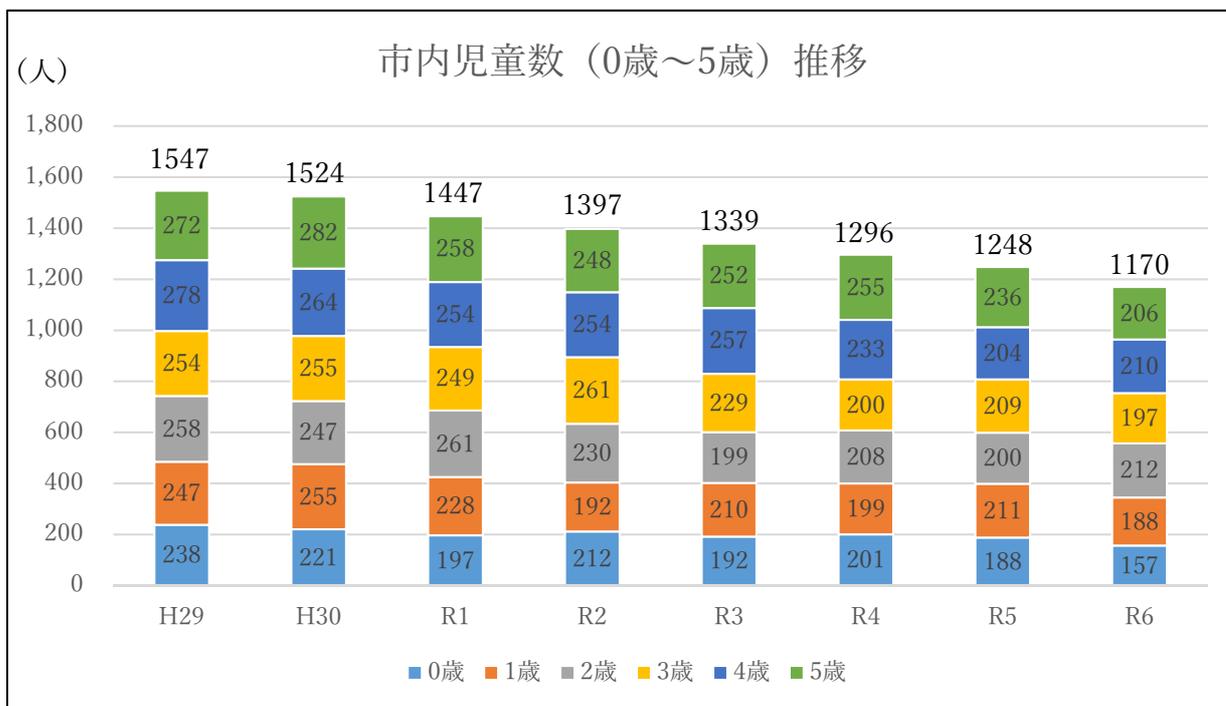
上記を踏まえ、田富第一保育園・田富北保育園の統合については、田富第一保育園への集約化にて実施することとし、統合までの流れについては、田富第一保育園の統合準備及び施設長寿命化を目的とした改修工事を先行して行い、令和9年4月までに統合する計画としました。

詳細については、6ページからの「II 統合について」に記載します。

3 市内児童数（0歳～5歳児）推移

市内児童数（0歳～5歳児）の平成29年度からの推移については、次のグラフ1のとおりです。

グラフ1 市内児童数（0歳～5歳児）推移（各年度4月1日時点）



出典：住民基本台帳

平成29年度には1,547人いた児童数が令和6年度までに1,170人と大幅な減少となり、今後についても減少傾向が続くと見込まれています。

4 田富第一保育園及び田富北保育園の現状について

(1) 建物（園舎）の現状について

田富第一保育園・田富北保育園施設（園舎）の現状は表1のとおりです。

表1 施設（園舎）の現状

	田富第一保育園	田富北保育園
建築年	1976年（昭和51年）	1982年（昭和57年）
経過年数	49年	43年
構造/階	RC造/平屋建て	RC造/平屋建て
延床面積	1103.87㎡	531.44㎡
定員	180名	80名

両施設とも経過年数が40年を超えている施設となっています。

田富第一保育園については、平成25年～平成26年にかけて大規模改修工事を実施していますが、敷地拡張等が主な内容であるため、今後長期的に利用する場合、施設長寿命化を目的とした改修が必要となっています。

田富北保育園については、築後改修を行っていないため、田富第一保育園同様、今後長期的に利用する場合、施設長寿命化を目的とした改修が必要となっています。

施設規模については、田富第一保育園は定員180名の大規模保育施設となっており、田富北保育園は定員80名の中規模保育施設となっています。



田富第一保育園



田富北保育園

(2) 定員に対する園児数及び園児数推移

田富第一保育園と田富北保育園の定員に対する園児数は表2のとおりです。また、過去8年間の園児数の推移は表3のとおりです。

表2 定員に対する園児数（令和6年4月1日時点）

単位：人

	定員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	充足率(%)
田富第一	180	4	11	12	16	19	21	83	46.1
田富北	80	0	5	7	10	13	15	50	62.5
合計	260	4	16	19	26	32	36	133	51.1

表3 過去8年間の園児数推移（各年度4月1日時点）

単位：人

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
田富第一	125	110	118	115	116	98	96	83
田富北	62	58	49	49	47	52	50	50
合計	187	168	167	164	163	150	146	133

グラフ2 過去8年間の園児数推移（各年度4月1日時点）



定員に対する園児数については、田富第一保育園が180名定員に対し83名で園児充足率が46.1%、田富北保育園が80名定員に対し50名で園児充足率62.5%となっています。

両施設合わせると260名定員に対し133名となっており、園児充足率が51.1%となっています。

園児数推移については、前述の市内児童数（0歳～5歳児）と同様に平成29年度より減少傾向となっており、今後も減少傾向が続くと見込まれています。

II 統合について

1 集約先施設の検討について

田富第一保育園・田富北保育園の統合にあたっての集約先施設については、施設規模による集約に係るコストの観点（敷地拡張・増築等の有無）や図書館や公園などの他公共施設との連携等の観点から「田富第一保育園」が適地と判断しました。

2 田富第一保育園への統合に向けた施設規模検討

田富第一保育園への集約化を行うにあたり、現在の田富第一保育園施設規模からの最大保育人数の試算を行いました。

田富第一保育園の保育室は概ね $7\text{m} \times 7\text{m}$ の約 49 m^2 となっており、この中で机と椅子の配置を想定した上で、各室の最大保育人数の試算を行います。

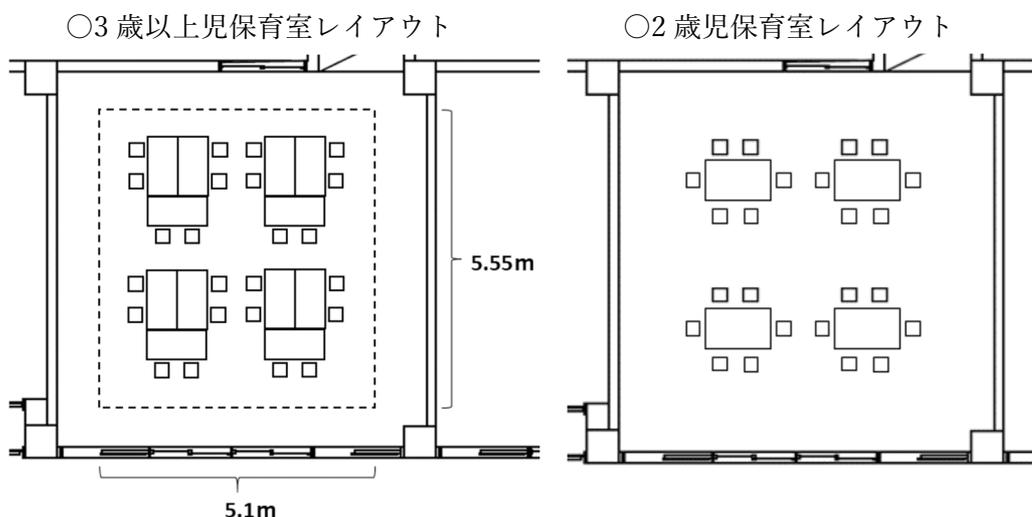
現在、年齢別に用いられている机のサイズ及び保育室 1 室あたりの机の台数は以下のとおりです。

3 歳児以上では、2 人掛けの机を利用しており、下図 1 の通り 12 台・24 人のレイアウトが可能です。また、2 歳児の場合、6 人掛けの机を利用しており、4 台・24 人のレイアウトが可能です。

したがって、田富第一保育園の $7\text{m} \times 7\text{m}$ の保育室の場合、2 歳児以上の 1 保育室あたりの保育可能人数は 24 人として施設規模の検討を行います。

また、0 歳児・1 歳児については、ほふくや午睡スペースが必要になることから、2 歳児以上の 2 倍程度の面積が必要となることが想定されることから、一人当たり 4 m^2 （国基準 $/3.3\text{ m}^2$ ）を基準に保育可能人数を試算します。

図 1 田富第一保育園保育室レイアウト



上記の考え方にに基づき保育可能人数を試算した結果は次の図 2・表 4 のとおりとなります。

図 2 田富第一保育園最大保育可能人数試算

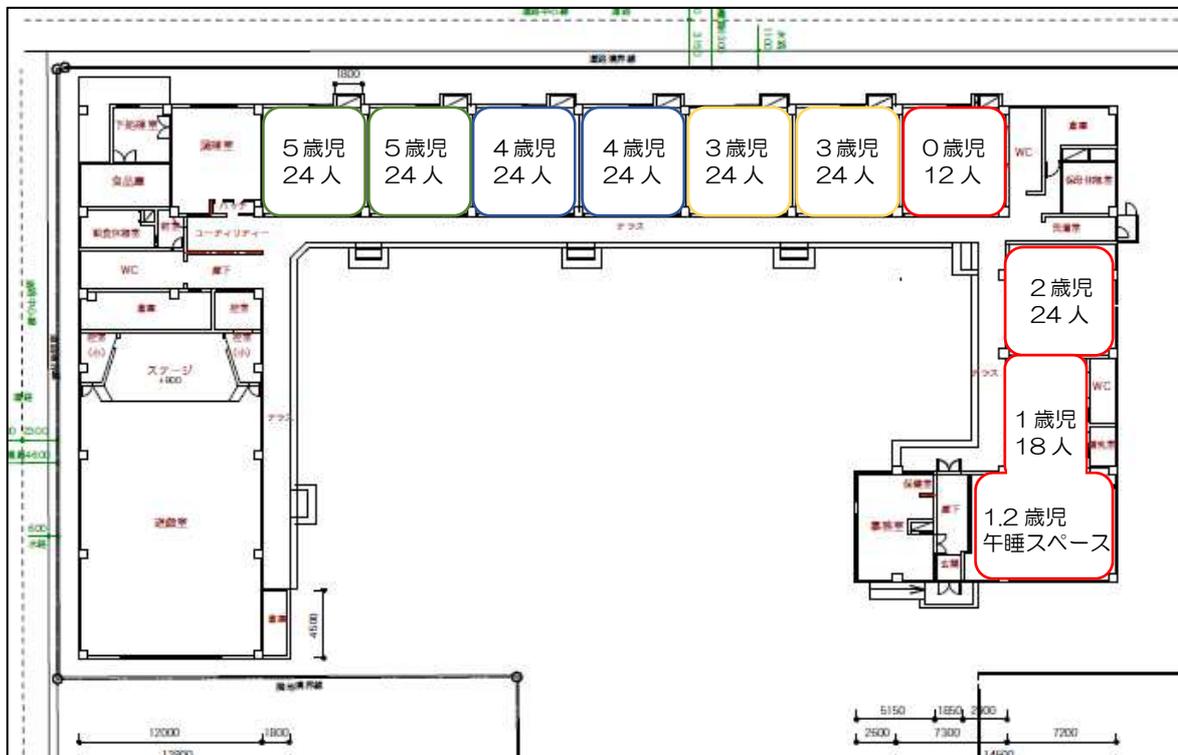


表 4 田富第一保育園最大保育可能人数（単位：人）

5 歳児	48
4 歳児	48
3 歳児	48
2 歳児	24
1 歳児	18
0 歳児	12
合計	198

上記の結果により、令和 6 年度時点での田富第一保育園及び田富北保育園園児数で統合を行ったとしても保育が可能であり、今後については、減少傾向が見込まれるため、田富第一保育園への集約化にあたって、増築等を行うことなく統合できると判断しました。

3 田富第一保育園改修工事について

田富第一保育園については、「中央市公共施設等第1期個別施設計画」において、築後80年（現在、築後49年）を目標に継続していく施設となっており、統合に先立ち統合準備及び施設長寿命化を目的とした改修工事を実施することとしています。

令和6年度において、「中央市立田富第一保育園劣化度診断等調査業務委託」を実施し、建物の躯体の劣化状況など詳細な建物調査を行った結果に基づき、改修工事にあたっては、次の基本方針を掲げ、園児・保護者にとって安心・安全な保育施設及び適切な維持管理を図ります。

(1) 田富第一保育園改修工事基本方針

01 安全な保育施設の実現

- ・潜在的なケガのリスク低減を図り安全でバリアフリーな施設への改修を目指す。

02 衛生的な保育施設の実現

- ・トイレ等水回りを中心に感染症リスク低減を図り衛生的な施設への改修を目指す。

03 誰でも使いやすく快適な保育施設の実現

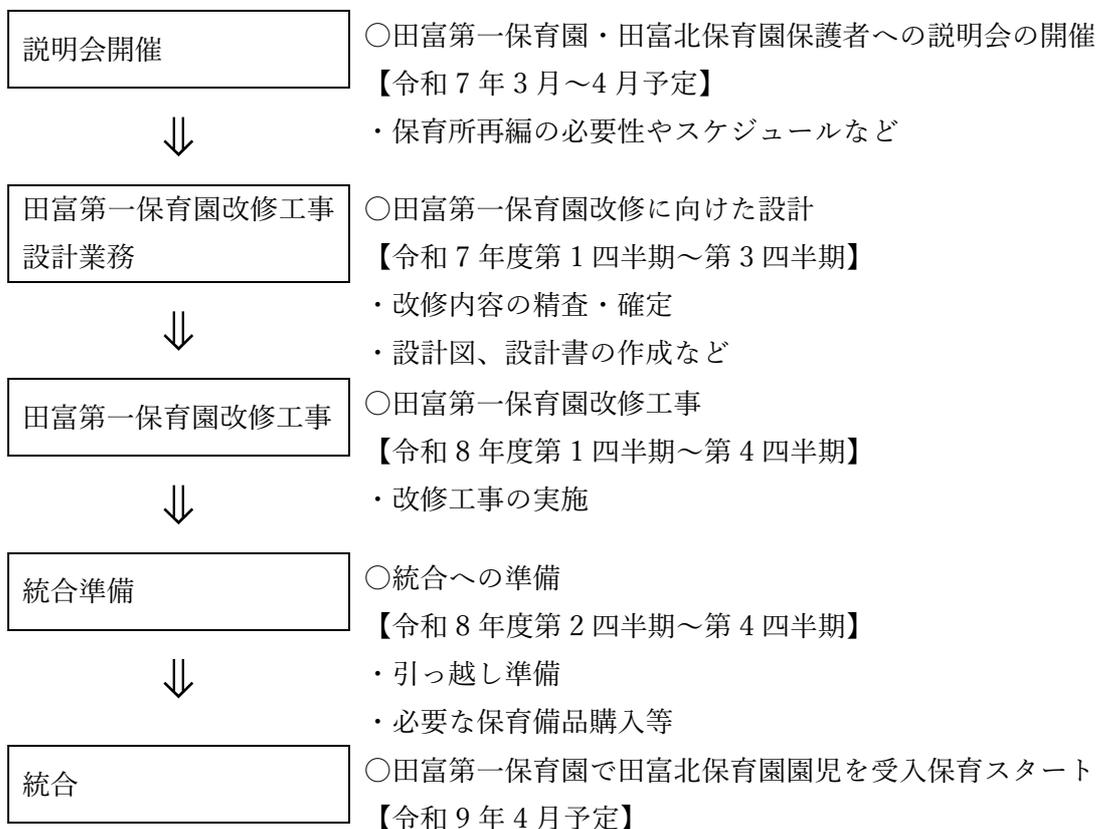
- ・園児、保育士、保護者にとって使いやすく、今後の保育環境の変化に対応可能な汎用性が高い施設への改修を目指す。

4 統合後の田富北保育園施設について

統合後、閉園となる田富北保育園の施設については、子どもや家庭を取り巻く環境が大きく変化する中、人口動向、社会情勢や新たなニーズに応じた利活用の可能性を検討した上で、今後の方針を決定していきます。

III 統合スケジュール

1 統合までの流れ



※実施時期については現時点での見込みのため、状況により変更となることがあります。



中央市立田富第一・田富北保育園

統合実施計画

令和7年2月

〒409-3892 山梨県中央市白井阿原 301-1

中央市こども健康部子育て支援課

TEL : 055-274-8557/FAX : 055-274-1125